

シンポジウム 誰もが外出を続けられるまちをつくる

— 介助が必要な人の移動と福祉有償運送の役割 —

外出は生活の質や社会参加に欠かせないものです。

高齢者や障がいのある人など、外出に介助を必要とする人にとって周辺の支援は必要不可欠ですが、外出手段の一つである福祉有償運送は、担い手の高齢化や担い手不足により、多くの団体が活動継続の危機に直面しています。一人で外出がしにくい人の支援は、今後、どうあるべきなのか？移動支援の現状と課題を共有し、誰もが外出を続けられる地域づくりに必要なことを共に考えます。

・ 日 時:2026 年 3 月 10 日(火)14 時～16 時 30 分

・ 会 場:横浜市開港記念会館 2 階 6 号室（横浜市中区本町 1 丁目 6—6 ）

参加費:無料 / 定員:90 名

【プログラム】

第 1 部 | アンケート報告

介助が必要な人の外出支援、および福祉有償運送の現状に関するアンケート結果報告

第 2 部 | 基調講演

吉田 樹 氏(福島大学 教授・学長補佐)「くらしを支える交通のあり方」

第 3 部 | パネルディスカッション

テーマ: 誰もが外出を続けられるまちをどうつくるか

登壇者(予定) 大野慶太氏 横浜市・東宝タクシー社長 全国子育てタクシー協会代表

金井信高氏 神奈川県立保健福祉大学 副学長

河崎民子氏 全国移動サービスネットワーク 副理事長

篠原一也氏 NPO 法人 野の花ネットワーク 理事

コメンテーター 吉田 樹氏

【申込・問合せ】

- ・ Web 申込:下記 QR コードより
- ・ メール:kanagawa-idounet@b04.itscom.net
- ・ 電話:045-534-6718 申込締切:3 月6日(金)

【主催】認定 NPO 法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク

【後援】神奈川県、NPO 法人全国移動サービスネットワーク

この企画は 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の助成を受けて開催しています

